

## 巻頭言

## PCP研究会閉会にむけて

2006年1月に、これまでの抗精神病薬とは薬理的な特性の異なる抗精神病薬であるエビリファイ<sup>®</sup>が国内で承認されることを受け、エビリファイ<sup>®</sup>の適正使用のためには、薬剤師の役割が重要であるとの認識が、大塚製薬株式会社内の関係者から提案されました。この提案を受け、数名の精神科病院に勤務する薬剤師が世話人となって精神科臨床薬学研究会（PCP研究会）は発足しました。エビリファイ<sup>®</sup>のみならず、向精神薬の適正使用のためには、薬剤師自身が、精神科薬物療法の専門知識を向上させる必要があるとの考えから、PCP研究会では、精神科薬物療法のエキスパートから講義を受けると共に、国内の各地において講習会を展開してゆきました。このような講習会は当時少なく、一時は1,500名近い会員数となりました。しかし、発足から約18年が経過し、2016年には、日本精神薬学会（JSPP）が発足したことなどから、この数年、会員数は減少し、当初の向精神薬の適正使用のためのさまざまな役割がJSPPに移行したことも受け、2023年度を以て閉会することになりました。これまでの会員の皆様のご支援とご協力に感謝すると共に、精神科医療および精神保健福祉に関わる薬剤師の益々の発展を祈念いたします。

代表幹事 吉尾 隆

## 2022年度全国処方調査中間報告 調査委員会

昨年10/31に実施した処方調査では、全国より、多くの貴重なデータをご提供頂きました。業務繁多にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

## 調査背景

	参加施設数	データ数	平均年齢
入院	73施設	8,756症例	59.4歳
外来	48施設	4,344症例	51.4歳

## 集計結果

※抗精神病薬「TRI-パリペリドン」は除外。(換算値が公表された後に再集計予定)

入院	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	1.6±0.9 剤	704.6±524.2mg (CP 換算)	44.8%
抗パーキンソン薬	0.3±0.5 剤	0.8±1.5mg (BP 換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.1±1.0 剤	7.2±12.7mg (DAP 換算)	
外来	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	1.5±0.8 剤	534.0±431.5mg (CP 換算)	57.3%
抗パーキンソン薬	0.4±0.6 剤	0.9±1.6mg (BP 換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.1±1.1 剤	8.3±13.2mg (DAP 換算)	

## 【発表予定】

本年9/16～17、岡山で開催される日本精神薬学会において、3演題発表いたします。多くの先生方にご参加いただき、活発にご討議いただければと思います。

## 2022 年度下期の活動状況

テーマ：双極性障害

ブロック	開催地	開催日	講演 I	講演 II	参加人数
九州・沖縄	沖縄	11月28日	高屋敷一也（新垣病院）		132
九州・沖縄	沖縄	1月16日		高江洲義和（琉球大学大学院）	94
中国・四国	岡山・愛媛	2月5日	細川智成（慈圭病院）	伊賀淳一（愛媛大学大学院）	42

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

### 2022 年度下期ブロック講演会を振り返って

#### 【九州・沖縄ブロック】

今回の九州・沖縄ブロック講演会は講師の都合により2回に分けての開催となりました。高屋敷先生からは薬剤師の目線から症例も含めて分かりやすい解説を、高江洲先生からは「日本うつ病治療学会治療ガイドライン」の紹介から双極性障害に関する最新の話についてご講演頂きました。オンラインでの開催で全国から多くの先生方にご参加頂き感謝しています。

九州・沖縄ブロック世話人 高田 憲一

#### 【中国・四国ブロック】

今回は双極性障害をテーマとして、講演 I は岡山から、講演 II は松山から全国へ配信しました。四国ブロックは、半年に1回各県で開催する方式（夏：愛媛 or 高知、冬：香川 or 徳島）で運営してきましたので、懐かしく思い出されます。当研究会発足当時の世話人として、これまでご参加頂きました皆様に感謝申し上げます。

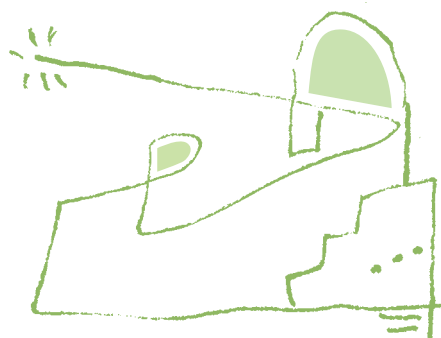
中国・四国ブロック世話人 梅田 賢太

## ビペリデン問題を考える

いまだに先の見えない医薬品の供給不足が続くなか、抗コリン薬ビペリデン錠「ヨシトミ」が2023年2月で出荷停止となりました。この出荷停止を受け代替えとなる抗コリン薬は軒並み出荷調整となり、使用することが難しい状況となっております。ただしこれは、抗コリン薬が認知機能障害や慢性便秘、排尿困難の原因となり、できるだけ減薬や中止が望ましいと考えられていることから、長期使用を見直すチャンスではないかと考えることができます。

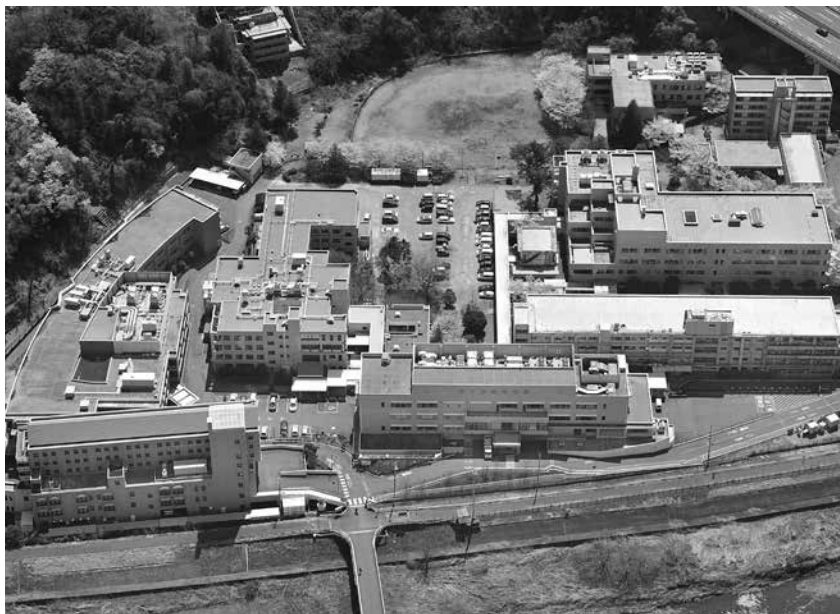
安全に抗コリン薬の減量、中止が行われるよう、積極的に処方提案を行うことや、抗コリン薬を必要としないための処方提案を行うなど、医薬品の適正使用に努めていくことが薬剤師の重要な役割の一つであると考えられます。

北海道ブロック世話人 志田 雅彦



## 病院紹介コーナー 社会福祉法人 桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院

当院は、東京都多摩市に1940年に開設された社会福祉法人立の精神科病院で、精神科救急急性期病棟や精神科急性期治療病棟を含む8病棟467床をもちます。豊かな自然に恵まれた敷地には、特別養護老人ホームやデイケアセンター、訪問看護ステーション、東京都認証保育所などが併設されています。多摩市の緊急医療救護所にも指定されており、自治体や地域の医師会、薬剤師会等と合同で災害医療訓練なども行われています。2015年9月からの東京都



の地域連携型認知症疾患医療センター指定や、2020年7月のサテライトクリニック開設などの動きに加え、今年度からは外来を含む新棟の建設が開始される予定で、より一層の医療の充実に期待をしています。

薬剤部の取り組みとしては、1994年より当時の吉尾隆薬剤部長が服薬指導を開始して以降、一貫して服薬指導に力を入れており、薬・病気・個々の患者の3つを知ること、精神科薬物療法の理解や薬の説明、よりよい患者コミュニケーションに生かしていけることをモットーにしています。薬学部実務実習の学生（2～3名/年）にも、11週間を通して薬と病気の知識に加え、患者の心情や境遇に配慮した対応を体験してもらっています。最近では、身体疾患の薬剤や持参薬管理、輸液の混注業務、腎機能に応じた投与設計、抗菌薬の適正使用、新型コロナ対応、医薬品の供給問題など、薬剤師として関わる業務の幅と量が増加しており、さらに今年度からのクロザピン導入準備なども加わり、マンパワー不足に悩まされてきましたが、4月から新卒薬剤師2名が入職し薬剤師7名体制となりました。これからは、クロザピン導入がスムーズに実施できる運用の調整や、さらなる薬剤師業務の拡大と充実を目指していきます。

<http://www.swfsakura.or.jp/sakuragaokahp/index.html>

社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院 佐藤 康一

## 日本精神薬学会(JSPP)への処方調査移管について

統合失調症に対する本邦の処方実態およびその動向を把握するため、PCP研究会が2006年より継続実施している全国処方調査ですが、2024年の調査からJSPPに移管いたします。JSPPの学術委員会内に設置する小委員会が担当することになりますが、調査体制の混乱を避けるため、当面はPCP研究会調査委員会の先生方を中心に構成いたします。引き続き、処方調査へのご協力をお願いいたします。



PCP 調査委員会 宇野 準二

## 2023 年度ブロック講演会開催（予定）のご案内

2023 年度のブロック講演会は、上期・下期に各 1 回実施いたします。

- 上期テーマ「統合失調症治療とリハビリ～社会機能の改善にむけて～」
- 下期テーマ「うつ病」

※開催日など詳細は、ホームページにてお知らせいたします。

## クロザピンを上手く使用するために（薬剤師としての関わり方）

日本がクロザピンという選択肢を得てから 14 年経とうとしています。ようやく令和 4 年度診療報酬改定において、特定薬剤治療管理料 1 にクロザピンが追加されることが通知されました。ついに日本でもクロザピン治療で TDM が可能になったわけですが、大学で薬物動態を専門的に学んできたわれわれ薬剤師の腕の見せどころです（自分で書きながら、なんとなく胸が痛いですが…）。クロザピンの効果を最大限引き出し、副作用を最小限にとどめるべく、積極的に TDM を活用したいものです。

中国・四国ブロック世話人 北川 航平

## PCP 研究会記念事業のご案内

2023 年 9 月に岡山で開催される第 7 回日本精神薬学会総会・学術集会で、PCP 研究会企画ワークショップを行います。今回、名城大学薬学部の吉見陽先生を講師に迎え、うつ病の症例検討を行う予定です。吉尾先生が座長を、そして各ブロックの世話人がファシリテーターを務めるパワフルなグループディスカッションです。どうぞみなさんご参加ください。そして、この症例検討は、今後 PCP 研究会記念事業として、日本精神薬学会で引き続き開催していく予定です。

九州ブロック世話人 柴田 木綿



### 事務局 掲示板

#### ■ 2023 年度会費（2022 年 4 月～2023 年 3 月分）

巻頭言でお伝えしました通り、当研究会は本年度をもって閉会いたします。つきましては、年会費の徴収は行わないこととなりました。通年年度初めに郵送いたします年会費のご案内でもお知らせいたしますので、お振り込みされないようご注意ください。

#### ■ 事務局連絡先

〒113-0031 東京都文京区根津 1-4-4 河内ビル5階  
株式会社青海社 内

E-mail : contact@pcp-rg.org

（メールには必ず、1. 施設名、2. 氏名を記載して下さい。）

FAX : 03-8532-6172 URL : <https://www.pcp-rg.org/>

#### 【編集後記】

先日、久しぶりに対面で開催された講演会でお話をさせていただく機会がありました。WEB とは違い、参加者の方々の反応を見ながらお話しすることができ、とても充実した講演会でした。今後の開催方法については、対面もしくは WEB、ハイブリッドの中から主催者によって選択されると思いますが、個人的には対面開催が良いなと思っています。

(Y. M.)